



オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオを受信してお楽しみいただけます。

ラジオの基本的な操作方法については、**Q-P.87～Q-P.90**をご覧ください。

よく聴く放送局を登録して利用する	86
ラジオの設定を変更する	89

よく聴く放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチで好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」(P.87)をご覧ください。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチで好みの放送局を受信することができます。



それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、AMラジオ、FMラジオともに、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで8つまでです。



- ホーム、お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストに登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

AUDIO ▶ FM/AM ▶ リスト

1 ◀ または ▶ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。



- 登録した放送局を聴くには、「選局する」(P.88)をご覧ください。

自動で登録する(オートプリセット)

ここまでの操作

AUDIO ▶ FM/AM ▶ リスト

1 APS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。



- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、APS中止 をタッチします。
- 登録した放送局を聴くには、「選局する」(P.88)をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作



1 目的の放送局をタッチする



選択した放送局が受信されます。



- AVコントロールバーの **前P.CH**、**次P.CH** をタッチして、放送局を切り替えることもできます。
- AMラジオ、FMラジオを切り替えるには、「AM/FMを切り替える」(Q-P.90) をご覧ください。

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。



- 走行中は本操作を行えません。
- 「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

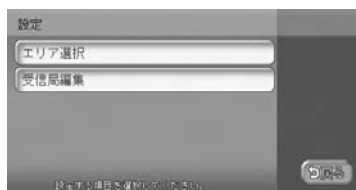
ここまでの操作



1 名称を変えたい放送局をタッチする

2 設定 をタッチする

3 受信局編集 をタッチする



4 放送局名 をタッチする



5 放送局を入力し、決定 をタッチする

ラジオの設定を変更する

受信エリアを切り替える



• 走行中は本操作を行えません。

エリアを切り替える

受信エリアを正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作



FM/AM

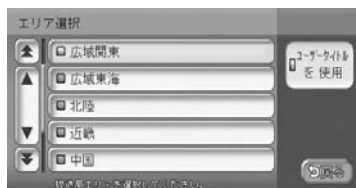


リスト

1 **設定** をタッチする

2 **エリア選択** をタッチする

3 エリアをタッチする



放送局エリアが切り替わります。



- **ユーザータイトルを使用** をタッチすると、ご自分で登録した放送局名 (P.88) を表示できます。
- 「お出かけ」モード選択時は、**ユーザータイトルを使用** は表示されません。

Memo



オーディオ・ビジュアル編

テレビを観る

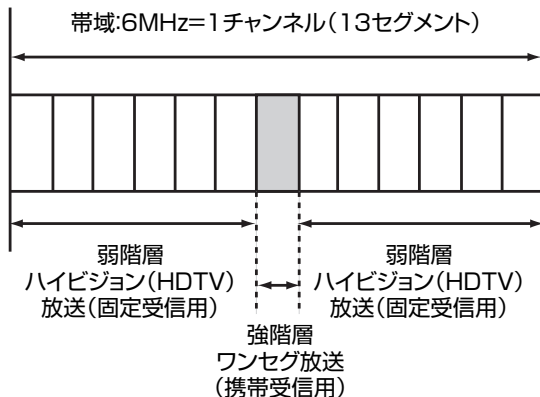
本機では、地上デジタル放送（ワンセグ）のテレビをお楽しみいただけます。

テレビの基本的な操作方法については、**Q-P.91～Q-P.94**をご覧ください。

ワンセグとは	92
よく観る放送局を登録して利用する	94
地上デジタル放送の受信設定を変更する	98

ワンセグとは

地上デジタル放送はUHF帯域の電波を使っており、6MHzを1つのチャンネルとして割り当てられています。これを13のセグメントに分割して、画質により携帯受信向けの簡易動画放送（強階層）、固定受信向けのHDTV放送（弱階層）に分類しています。このうちのモバイル端末（携帯電話など）の強階層に割り当てられている「1つのセグメント」を使って放送を行うことから「ワンセグ放送」と呼ばれています。



ワンセグマルチチャンネル放送について

ワンセグに使用している1セグメントをさらに切り分けて、2つの別々の番組を視聴することができるサービスです。

	A 放送局	
	〇〇〇ch	△△△ch
6 時	プロ野球中継	
7 時	プロ野球	ニュース
8 時	映画	

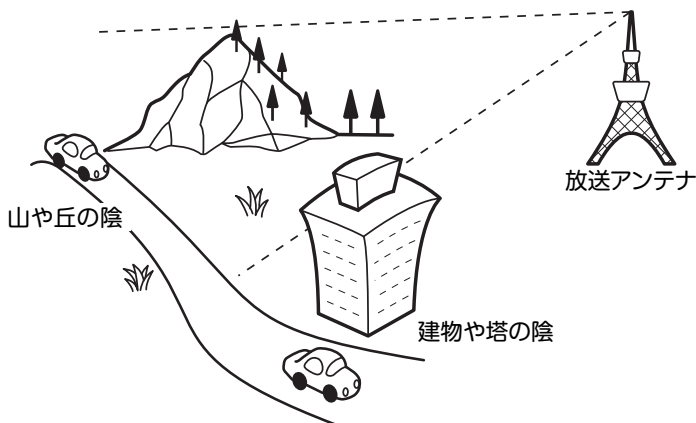
上記の例では、6時台は、〇〇〇chと△△△chを使い、プロ野球を放送。7時台は〇〇〇chではプロ野球、△△△chではニュースを放送。8時台は、〇〇〇chと△△△chを使い映画を放送。

上記の例では、〇〇〇chをメインチャンネル、△△△chをサブチャンネルと呼びます。本機はワンセグマルチチャンネルに対応しています。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- ワンセグ放送は、受信エリアが限定されます。受信エリア内でも受信障害が発生する場所では受信できない場合や、映像の動きが固まったように見える場合があります。
- 放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないところもあります。そのような放送局では受信しても映像が映りません。
- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなる場合があります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



アナログ放送からデジタル放送への移行について

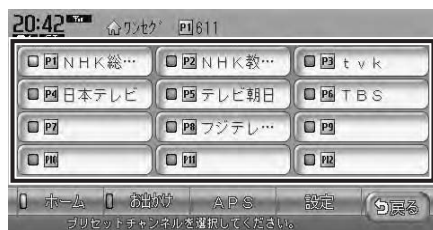
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

よく観る放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」(P.95)をご覧ください。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。



それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。



- ホーム、お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストに登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作



1 ◀▶ または ▶▶ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。



- 登録した放送局を観るには、「選局する」(P.96) をご覧ください。

自動で登録する(オートプリセット)

ここまでの操作



1 APS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。

受信した放送局は、決められたプリセットチャンネルに登録されます。



- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 登録した放送局を観るには、「選局する」(P.96) をご覧ください。

テレビを観る

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作

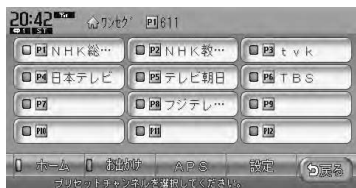


ワンセグ



リスト

1 目的の放送局をタッチする



選択した放送局の番組が受信されます。



- AVコントロールバーの **前P.CH**、**次P.CH** をタッチして放送局を切り替えることもできます。
- 映像画面をタッチして表示される放送局リストからも、同様の操作ができます。

メインチャンネル／サブチャンネルを選局する

メインチャンネルとサブチャンネルの切替



受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合「マルチチャンネルインジケータ」が表示されます。

サブチャンネルが存在する場合に、**次P.CH** をタッチすると、サブチャンネルに切り替わりします。(サブチャンネル受信中に **前P.CH** をタッチすると、メインチャンネルに切り替わりします)



- マルチチャンネルインジケータは、サブチャンネル受信中も表示されます。
- 地図画面でメイン／サブチャンネルを選局するには、AVコントロールバーの **前P.CH** または **次P.CH** をタッチします。

地上デジタル放送の受信設定を変更する

複数音声放送、音声多重放送の音声の切り替えやエリアの設定など、地上デジタル放送（ワンセグ）に関する設定ができます。



・走行中は本操作を行えません。

音声・エリアを切り替える

音声を切り替える

複数音声放送、音声多重放送で優先する音声を切り替えます。

ここまでの操作

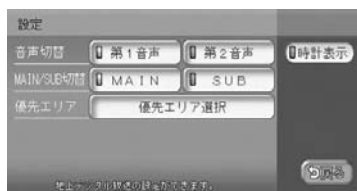


ワンセグ

リスト

1 **設定** をタッチする

2 切り替えたい項目をタッチする



音声切り替わります。

音声切替：

複数音声放送をご覧になる場合に優先する音声を、第1音声／第2音声から選択します。

MAIN/SUB切替：

音声多重放送をご覧になる場合に優先する音声を、MAIN（主音声）／SUB（副音声）から選択します。

優先エリアを切り替える

県境などで自動で放送局を登録（オートプリセット）した場合、同じチャンネルに複数の放送局が重なってしまうことがあります。優先エリアを正しく設定することで、そのエリアのチャンネルが優先して登録されます。



- ・優先エリアの初期設定値は東京です。東京以外の地域を優先エリアに設定した場合は、必ずその地域でオートプリセットを実行してください。
- ・県境などでオートプリセットを実行した場合、エリア選択で優先された地域の放送局は、そのエリアの決められたプリセットチャンネルに登録されます。ただし、同時に検出された放送局が存在する場合は、未登録のプリセットチャンネルにそれぞれが割り振られます。
- ・放送局が12局以上検出された場合は、13局目以降の放送局設定は破棄されます。

ここまでの操作



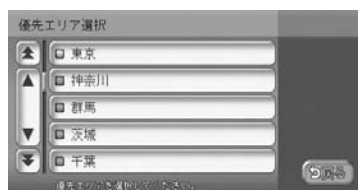
ワンセグ

リスト

1 **設定** をタッチする

2 **【優先エリア】** の **優先エリア選択** をタッチする

3 エリアをタッチする



優先エリアが切り替わります。

テレビ映像上に時計を表示する

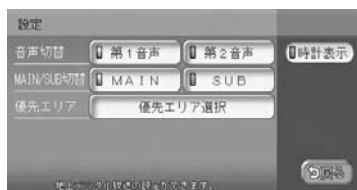
操作メニューの表示が消えたあとも、映像上に時計のみを表示しておくことができます。

時計を表示する

ここまでの操作



1 時計表示 をタッチする



映像画面で操作メニューが消えたあとも、左上に時計が表示されます。



- 時計表示を解除する場合は、**時計表示** を再度タッチします。



オーディオ・ビジュアル編

DVDを観る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDの基本的な操作方法については、**Q-P.95～Q-P.100**をご覧ください。

本機で使えるDVD	102
いろいろな再生方法	103
いろいろな操作方法	106
DVDビデオの初期設定を変更する	108

本機で使えるDVD

再生できるディスク

-  のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

いろいろな再生方法

DVDビデオの再生方法

タイトル・チャプター番号を入力して再生する

ここまでの操作

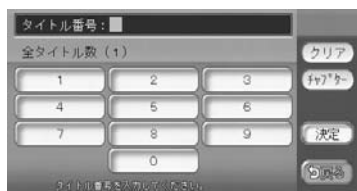


DVD/CD



サーチ

- 1 タイトル番号またはチャプター番号を入力し、**決定** をタッチする



チャプター :

チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル :

タイトル番号を入力するときにタッチします。

- 2 **戻る** をタッチする

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

メニューから再生する

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たい映像をすぐに再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

ここまでの操作



DVD/CD



メニュー操作



- 「操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

- 1 **トップメニュー** または **メニュー** をタッチする

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

- 2 **▲**、**▼**、**▶**、**◀** をタッチして、選択したいメニューにカーソルを移動し、**決定** をタッチする



選択したメニュー項目が再生されます。



- **10キー** をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

D
V
D
を
観
る

DVD-VRの再生方法

DVD-VRのディスクでは、以下の方法で再生することができます。

- タイトルリストからタイトルを直接選択して再生する
- お手持ちのDVDレコーダーで作成したプレイリストから再生する



• プレイリスト…DVD映像の好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルのこと

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

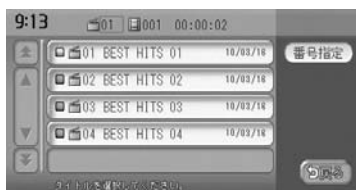


DVD/CD



リスト

1 観たいタイトルをタッチする



選択したタイトルが再生されます。



- **番号指定** をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

2 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する

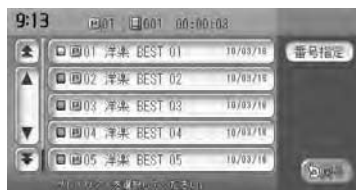
1 **プレイリスト** をタッチする

プレイリストがONになります。

2 **リスト** をタッチする

プレイリストが表示されます。

3 観たい項目をタッチする



選択した項目が再生されます。



- **番号指定** をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

4 **戻る** をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

リピート・スキャン再生をする

1つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生したり、10秒間ずつ順に再生できます。



- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生、スキャン再生を行えません。

リピート・スキャン再生をする

ここまでの操作



DVD/CD



機能

- 1 目的の項目の **CHAPTER** または **TITLE** をタッチする



- 2 **戻る** をタッチする

選択した動作で再生が始まります。



- 通常再生に戻すには、手順1を操作して、**CHAPTER** または **TITLE** をタッチしてオフの状態にします。
- スキャン再生は、早送り／早戻ししたときに自動的に解除されます。

いろいろな操作方法

画面サイズを切り替える

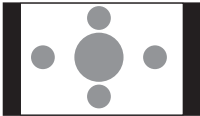
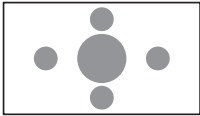
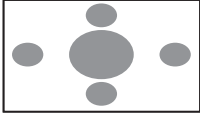


- ・状態表示をオンに設定している場合は、画面サイズは常に「フルワイド」で表示されます。画面サイズを切り替える場合は、状態表示をオフに設定してください。(P.114)

ここまでの操作



画面サイズを選択してタッチすると、選択したサイズで画面が表示され、通常の映像画面に戻ります。

設定項目	設定の内容
ノーマル 	映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。
ワイド 	映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。
フルワイド 	映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。
シネマ 	通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

字幕・音声・アングルを切り替える

DVDビデオの字幕言語・音声言語・アングルを切り替える

DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

ここまでの操作



1 **アングル**、**字幕**、**音声** のいずれかをタッチする



タッチするたびに字幕言語、音声言語、アングルの設定が切り替わります。



- 初期設定 (P.108) で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させると、字幕を消せます。

2 **戻る** をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVD-VRの字幕表示・音声を切り替える

DVDに字幕、複数の音声が入力されている場合のみ有効です。

ここまでの操作



1 **字幕** または **音声** をタッチする



タッチするたびに、字幕または音声の設定が切り替わります。



- 画面上部に、現在の設定が表示されます。
- タッチすることにより音声は以下のとおりに切り替わります。
ストリーム1→ストリーム2→出力チャンネルLL→出力チャンネルRR→出力チャンネルLR→ストリーム1

2 **戻る** をタッチする

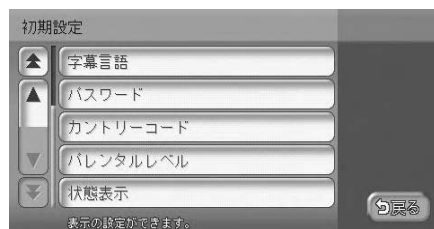
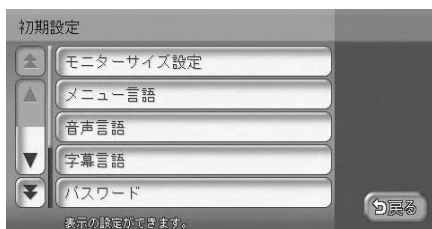
設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVDビデオの初期設定を変更する



- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生が始まりますが、設定内容によって再生が始まる位置が異なります。DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生が始まることもあります。
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生が始まります。

ここまでの操作



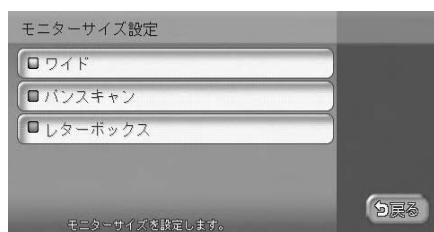
設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.109
メニュー言語	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.110
音声言語	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.110
字幕言語	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.110
パスワード	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.112
カントリーコード	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.113
パレンタルレベル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.113
状態表示	再生状態（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.114

モニターサイズを設定する

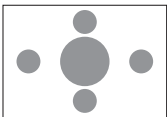
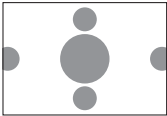


- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスカン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

ここまでの操作



優先的に再生する画面サイズをタッチします。

設定項目	設定の内容
ワイド 	映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。
パンスカン 	画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。
レターボックス 	画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

言語を設定する

メニュー・音声・字幕言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。



• 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

ここまでの操作



1 言語をタッチする



• 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。レベル1が最も制限が厳しいパレンタルレベルです。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4～8」の場合のみ、再生できます。

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1～3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。



- 初期設定は「パレンタルレベルOFF」です。
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。



- 初めてパレンタルレベルの設定をする場合は、「パスワードを設定・変更する」（P.112）をご覧ください。

パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。



• パスワードの初期設定は「0000」です。

ここまでの操作



- 1 パスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁）を入力して、**決定** をタッチする



入力されたパスワードは、「※※※※」と表示されます。

新規パスワード設定の場合は手順4に進みます。

- 2 **パスワードの変更** をタッチする



- 3 新しいパスワードを入力して、**決定** をタッチする



- 4 もう一度同じパスワードを入力して、**決定** をタッチする
新しいパスワードが設定されます。

パスワードを消去する

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作



- 1 パスワードを入力して、**決定** をタッチする
パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。

- 2 **パスワードの消去** をタッチする

- 3 **はい** をタッチする
パスワードが消去されます。

パレンタルレベルを設定する

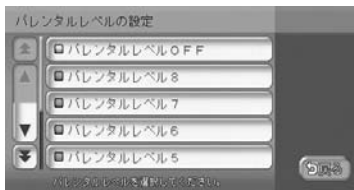


- パレンタルレベルを変えするときの警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。

ここまでの操作



- 1 パスワードを入力して、**決定** をタッチする
- 2 設定したいパレンタルレベルをタッチする



パレンタルレベルが設定されます。



- **パレンタルレベルOFF** をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです。カントリーコードについて詳しくは、「カントリーコード一覧」(P.251)をご覧ください。



- 初期状態では、「7480 (JAPAN)」が設定されています。

ここまでの操作



- 1 DVDに記録してある国（または地域）のカントリーコードを入力して、**決定** をタッチする



カントリーコードが設定されます。

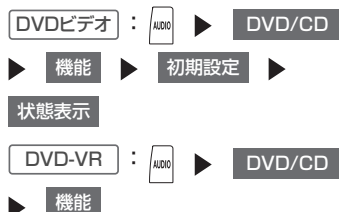
常に再生状態を表示する

この設定は、DVD-VRでも行えます。

状態表示を設定する

DVDの再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

ここまでの操作



- 1 常に状態を表示する（DVDビデオ）、または 状態表示（DVD-VR）をタッチする

DVDビデオ



DVD-VR



再生状態の表示が設定されます。



- 再生状態の表示を解除する場合は、**常に状態を表示する** または **状態表示** を再度タッチします。
- リア席モニター接続時、再生状態を表示するよう設定すると、リア席モニターにも再生状態が表示されます。なお、映像をリア席モニターから本機の画面に切り替えたときに、リア席モニターの再生状態の一部が本機の画面に残ることがあります。

再生状態表示画面





オーディオ・ビジュアル編

CD・MP3・WMAの音楽を聴く

本機では、CD、MP3／WMA形式の音楽データを保存したディスク、SDカード、USBメモリーをお楽しみいただけます。

CD、MP3、WMAの基本的な操作方法については、**Q-P.101～Q-P.106**をご覧ください。また、USBメモリーの操作方法については、**P.135**からの説明をご覧ください。

本機で使えるCD	116
本機で使えるMP3・WMA	117
いろいろな再生方法	121
情報を表示する	124

本機で使えるCD

再生できるディスク

- 音楽CD ( のついてるディスク)
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※¹
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※²
- コピーガード付きCD※³

※¹ アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※² 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

※³ 再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバークランCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

本機で使えるMP3・WMA

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、USBメモリーを再生することができます。

再生できるMP3・WMAファイル

- 記録メディア※1：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、SDHCカード、USBメモリー
- 記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF (Ver1.02のみ)、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo
SDカード／USBメモリー：FAT16、FAT32
- バケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3／WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R／RWはマルチセッション未対応）

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps～320kbps
MPEG2：8kbps～160kbps
※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリエابلビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SDカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたはSDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05	22.05/16	—
VBR*	48/44.1	48/44.1	44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

MP3・WMAの記録メディアについて

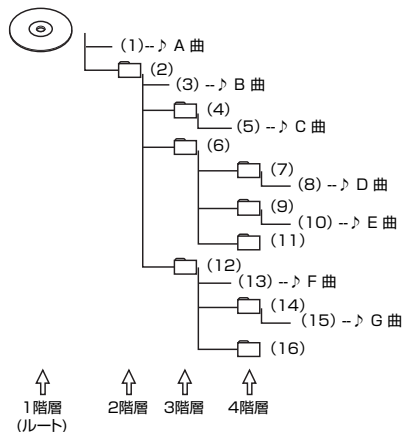
- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：255（ルートを含む）
 - ファイル：512（1フォルダあたり最大255）
 - SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：500
 - ファイル：4000（1フォルダあたり最大99）
 - USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：500
 - ファイル：8000（1フォルダあたり最大255）
- ※ 32GBまでの容量の、SDカードまたはUSBメモリーに対応

ディスクのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1～4階層の場合）は、下図のようになります。

曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。

下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。

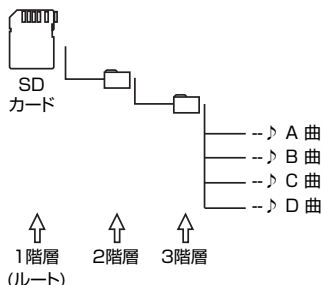


- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したSDカードのイメージは、下図のようになります。SDカードでは3階層目にあるMP3／WMA音楽ファイルのみが認識されます。曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。

下図の再生順序は、アルファベット順となります。



USBメモリーでは階層の指定はなく、MP3／WMA音楽ファイルのみが認識されます。

- MP3／WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- USBメモリーの場合、8階層（ルートディレクトリを含まない）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- SDカードの場合、3階層目にあるMP3／WMAファイルの再生のみに対応しています。
- SDカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、またはUSBメモリーで1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SDカード／USBメモリーで1つのフォルダにMP3／WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SDカード／USBメモリーの各階層で認識可能なフォルダ数は最大500（2階層：アーティスト名フォルダ、3階層：アルバム名フォルダとも）になります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、SDカード、USBメモリーの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3／WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- SDカード、USBメモリーとも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

いろいろな再生方法



- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition ServiceSMの情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition ServiceSMからタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- Gracenote[®] Music Recognition ServiceSMについて（P.256）をご覧ください。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部が空いて再生されます。

フォルダ、トラックを選ぶ

タイトルリストから選択したり、番号を入力してフォルダやトラックを再生します。



- 本機では、CDを録音して再生できるMUSIC RACKという機能があります。初期状態では、CDを挿入すると、自動的に録音が始まるよう設定されています。

タイトルリストから再生する

ここまでの操作



1 フォルダをタッチする（MP3/WMA再生時のみ）

フォルダリスト



選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

聴きたいトラックを指定する場合、またはフォルダが設定されていない場合は、手順2に進んでください。

2 トラックをタッチする

トラックリスト



選択したトラックから再生がはじまります。

番号を入力して再生する

フォルダ番号やトラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。

ここまでの操作



- 1 フォルダリスト画面で **番号指定** をタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

フォルダ番号を指定しない場合は、手順3に進んでください。

- 2 フォルダ番号を入力して、**決定** をタッチする (MP3/WMA再生時のみ)



入力した番号を先頭にしたフォルダリストが表示されます。

- 3 フォルダをタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

トラックリストが表示され、選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

- 4 トラックリスト画面で **番号指定** をタッチする

- 5 トラック番号を入力して、**決定** をタッチする



入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

- 6 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作



1 目的の項目をタッチする

CD表示画面



REPEAT :

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

現在再生中のCDの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生します。

MP3 / WMA表示画面



REPEAT :

現在再生中のフォルダ全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

各フォルダの先頭トラックの出だし、または現在再生中のフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

全フォルダの全トラック、または現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

情報を表示する

トラック情報、CD-TEXT、TAG情報を表示する

再生中のトラック情報を表示する

再生中のトラックの情報を表示できます。

ここまでの操作

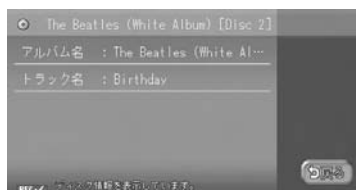


1 フォルダをタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

2 TAG情報 (MP3/WMA) または トラック情報 (CD) をタッチする

トラック情報画面が表示されます。

CD表示画面



MP3/WMA表示画面



CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する

リスト画面以外のタイトル表示部にCD-TEXTやTAG情報を表示できます。

CDの場合：

CD-TEXTがある場合、優先的にCD-TEXTが表示されます。

MP3/WMA音楽データの場合：

TAG情報がある場合は、優先的にTAG情報が表示されます。

TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示されます。

ここまでの操作



1 初期設定 をタッチする

2 CD-TEXTを優先して表示する

(CD) または

TAG情報を優先して表示する

(MP3/WMA) をタッチする



CD-TEXTまたはTAG情報が優先して表示されます。

※画面はCDのものです。



- 優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。



MUSIC RACKを使う

本機では、CDを録音して再生できる、MUSIC RACKをお楽しみいただけます。

MUSIC RACKの基本的な操作方法については、**Q-P.107～Q-P.112**をご覧ください。

MUSIC RACKについて	126
録音設定を変更する	127
いろいろな再生方法	129
アルバム・トラック情報を編集する	132

MUSIC RACKについて

MUSIC RACKの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数	最大1000トラック（アルバムは最大200枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック） ※ただし、メモリー容量の範囲内のみ（*）
録音できる音源音楽	音楽CDのみ（**）
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10（高音質モード）に圧縮できます。

（*）メモリー容量については、「本機の情報を見る」（P.61）をご覧ください。

（**）録音できるCDについては、「本機で使えるCD」（P.116）をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを<1世代まで>と規制しております。

したがって、以下の操作を本機で行えません。

- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。

また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。



- Gracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
詳しくは、「アルバム情報の更新について」（P.211）をご覧ください。

録音設定を変更する

MUSIC RACKにCDを録音するには、自動録音、手動録音の2つの方法があります。初期状態では、CDを挿入すると自動的に録音を開始する自動録音に設定されています。



録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音の設定を変更する

録音速度を変更する

ここまでの操作



各種設定

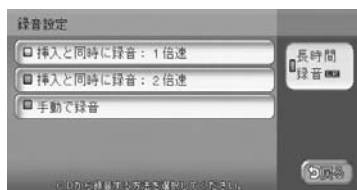
1

録音設定 をタッチする



2

挿入と同時に録音:1倍速 または
挿入と同時に録音:2倍速 をタッチする



挿入と同時に録音:1倍速 :

CD再生時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音:2倍速 :

CD再生時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。



- 長時間録音 をタッチすると、長時間録音モード (LP) に設定されます。工場出荷時は、高音質モード (HQ) に設定されています。長時間録音モードは、高音質モードに比べ録音曲数は多くなりますが、音質は低くなります。高音質モードのビットレート:

132kbps

長時間録音モードのビットレート:
66kbps

- 長時間録音モード (LP) で録音された曲を再生すると、アルバム/トラック番号の下に「LP」と表示されます。
- 録音可能なトラック数は、高音質モードで最大500トラック、長時間録音モードで最大1000トラックです。アルバム数、トラック数、録音可能容量 (2G byte) のいずれかが超えた場合は録音できません。

手動録音の設定をする

CDを再生中に手動でMUSIC RACKに録音するよう設定できます。

手動録音に設定する

ここまでの操作



各種設定

1 **録音設定** をタッチする

2 **手動で録音** をタッチする
手動録音に設定されます。

手動で録音する

CDを再生中に、手動でMUSIC RACKに録音できます。

- 1 CD再生中に **REC** をタッチする
- 2 希望の録音モードをタッチする



録音が始まります。

全曲録音 :

再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。確認画面で **はい** をタッチすると、アルバム先頭から録音され、再生・録音が始まります。

現在の曲を録音 :

再生中のトラックを録音できます。トラック先頭に戻り、再生・録音が始まります。

曲を指定して録音 :

録音したいトラックをリストから選択して録音できます。複数のトラックを選択できます。リストからトラックを選択して **決定** をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音が始まります。

1倍速で録音 :

1倍速で録音します。

2倍速で録音 :

2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

いろいろな再生方法

アルバム・トラックを選ぶ

リストから再生する

MUSIC RACKのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

ここまでの操作



- 1 アルバム名をタッチする
アルバムリスト



トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

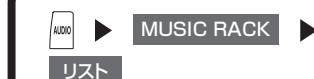
- 2 トラックをタッチする
トラックリスト



選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

ここまでの操作



- 1 アーティスト検索 をタッチする
- 2 アーティスト名をタッチする
- 3 アルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。アルバムリストからアルバムを指定する方法とアーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

ここまでの操作



1 **編集** をタッチする

2 **選択演奏** をタッチする

3 **アルバム選択** または **アーティスト選択** をタッチする



アルバム選択 :

リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択 :

リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。



- すでに**選択演奏**が設定されているときは、**選択演奏解除**が表示されます。**選択演奏解除**をタッチすると、**選択演奏**を中止します。

4 アルバムまたはアーティスト名を選択して、**決定** をタッチする



選択した項目が再生されます。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作



1 目的の項目をタッチする



選択した動作での再生が始まります。

REPEAT :

現在再生中のアルバム全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

各アルバムの先頭トラックの出だし、または現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

全アルバムの全トラック、または現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム・トラック情報を編集する

アルバムを編集する

アルバム情報を表示する

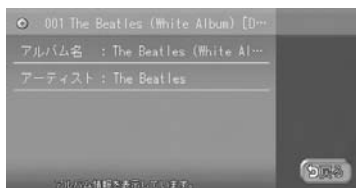
MUSIC RACKで再生中のアルバム名とアーティスト名を表示できます。

ここまでの操作



1 アルバム情報 をタッチする

アルバム情報が表示されます。



アルバム情報を編集する

ここまでの操作



1 編集 をタッチする

2 情報編集 をタッチする

3 編集したいアルバムをタッチする



4 アルバム名 または アーティスト をタッチする



5 アルバム名またはアーティスト名を入力して、決定 をタッチする

アルバム情報が編集されます。



• アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なアルバムを削除する



- 一度削除したアルバムは元に戻せません。

ここまでの操作



MUSIC RACK ▶

リスト

- 1 **編集** をタッチする
- 2 **アルバム削除** をタッチする
- 3 削除したいアルバムを選択して、**決定** をタッチする



- 複数のアルバムを選択できます。

- 4 **はい** をタッチする
選択したアルバムが削除されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

ここまでの操作



MUSIC RACK ▶

リスト

- 1 **編集** をタッチする
- 2 **アルバム並替** をタッチする
- 3 順序を変えたいアルバムをタッチする



- 4 移動先の **◀移動** をタッチする



- 5 **決定** をタッチする
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

トラックを編集する

トラック情報を編集する

トラック名を編集できます。

ここまでの操作



- 1 編集したいアルバムをタッチする
- 2 **編集** をタッチする
- 3 **情報編集** をタッチする
- 4 編集したいトラックをタッチする



- 5 **トラック名** をタッチする



- 6 トラック名を入力して、**決定** をタッチする

トラック情報が編集されます。



- トラック名には全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なトラックを削除する



- 一度削除したトラックは元に戻せません。

ここまでの操作



- 1 編集したいアルバムをタッチする
- 2 **編集** をタッチする
- 3 **トラック削除** をタッチする
- 4 削除したいトラックを選択して、**決定** をタッチする



- 複数のトラックを選択できます。

- 5 **はい** をタッチする
- 選択したトラックが削除されます。



オーディオ・ビジュアル編

USBメモリーの オーディオを聴く

お手持ちのUSBメモリーと本機をつないで、MP3／WMAの音楽を聴くことができます。

USBメモリーの音楽を聴く 136

USBメモリーの音楽を聴く

別売のUSBケーブルにUSBメモリーを接続することにより、パソコンで編集したMP3／WMA形式の音楽データを本機で再生することができます。

音楽データの保存方法について

USBメモリーには、MP3またはWMA形式の音楽ファイルを保存してください。

USBメモリー内の階層は、9階層（ルートを含む）までです。

アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。



- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」(P.117)をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」(P.117)をご覧ください。

USBメモリーについて

- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリー (USBメモリーデバイス) に対応しています。
- 下記のようなUSBメモリーには対応していません。
 - パーティションが複数あるUSBメモリー
 - 電流が500mAを超えるUSBメモリー
 - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSBメモリー
 - セキュリティ機能など、特殊な機能が付いているUSBメモリー
 - SONY製Walkmanには非対応
 - その他一部再生できないマスストレージクラスのUSBフラッシュメモリーがあります。
- USBメモリーに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USBメモリーの音楽再生中にUSBメモリーを取り外さないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリーの保存内容が失われる恐れがあります。消失した音楽データについては補償できませんので予めご了承ください。
- 32GBまでの容量の、USBメモリーに対応

操作画面について

→ ここまでの操作

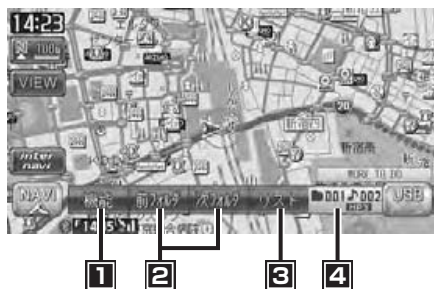
USBメモリーを接続する



USB/iPod



• USBケーブルにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。



■この画面からできる操作

- 1** リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための

機能メニューを表示する P.123

- 2** 再生するフォルダを切り替える Q-P.106

- 3** フォルダリストを表示する P.121

- 4** 再生中のフォルダ、トラックの番号を表示する

USBメモリーのオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作

USBメモリーを接続する ▶



1 USB/iPod をタッチする

USBメモリーのオーディオが再生されます。



• USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただし、ファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ替えることができます。

早送り／早戻しする

1 (早送り) または (早戻し) を押し続ける



• 、 から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 または を押す



• を押すとトラックの先頭に戻り、さらに を押しすごとに前のトラックに移動します。

• を押しすごとに次のトラックに移動します。

以降の操作はメモリーカードからの再生と同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

- フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する…………… P.121
- フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する…………… P.122
- リピート、スキャン、ランダム再生をする…………… P.123
- トラックの情報を表示する…………… P.124
- TAG情報を表示する …………… P.124



オーディオ・ビジュアル編

iPod[®]を聴く／ iPod[®]ビデオを観る

本機では、iPod（別売）を接続して、iPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

iPodの基本的な操作方法については、Q-P.113～Q-P.116をご覧ください。

接続できるiPod	140
いろいろな再生方法	142
情報を表示する	145
iPodの接続方法を切り替える	146

接続できるiPod



本機は第5世代iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchに対応しています。詳細は以下の表をご覧ください。iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。iPodを本機に接続するには、iPodに付属のiPodケーブルを、USB接続コード（別売）のUSB端子に接続します。iPodビデオを観るには、別売のUSB接続コード、VTRコードに加え、お客様に別途で用意いただくビデオ出力対応のドックコネクタ接続ケーブルが必要です。

また、接続可能なiPodについての最新の情報は、弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod classic(2009)※2	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1）	ビデオ再生可
iPod nano（第5世代）	ビデオ再生可
iPod touch（第1世代※3、※4）	ビデオ再生不可
iPod touch （第2世代：8GB、16GB、32GB、64GB）	ビデオ再生可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

※2 ゲームプレイ中や保存曲数が最大においてのシャッフル再生時などでの接続は、状況によって不安定となる場合があります。負荷のかかる動作時には接続しないでください。動作が不安定となった場合、iPodをケーブルから外し、iPodを複数回リセットしてください。もしナビ・オーディオ側が不安定な場合は、車両のキーを一度OFFにしてからONしてください。

※3 ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

※4 「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後はプレイリストとして再生できます。



- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリPEAT機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。

リセット方法の例

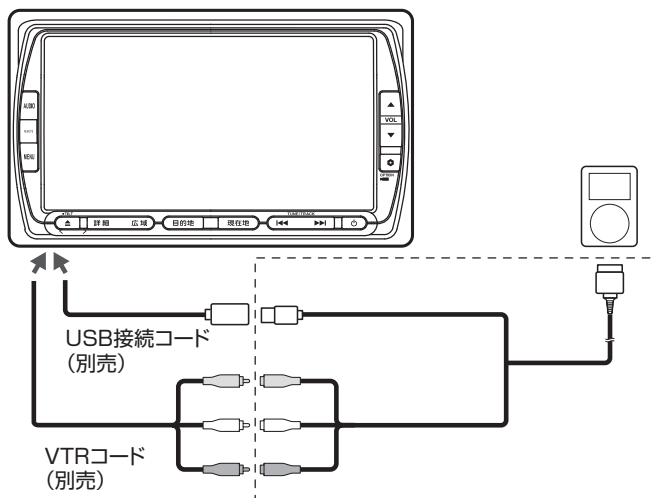
- iPodの場合：
「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
- iPod touchの場合：
「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

- 車のエンジンを切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗する恐れがあります。

iPodビデオを接続する

本機でiPodビデオを観るには、以下のイラストのように接続し、「接続方法を切り替える」(P.146)で、「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定してください。



Apple純正「AppleコンポジットAVケーブル」などのビデオ出力対応ドックコネクタ接続ケーブル(別売)

いろいろな再生方法

トラックを選ぶ

タイトルリストから再生する

ここまでの操作



USB/iPod



リスト

1 トラックをタッチする



選択したトラックが再生されます。

トラック番号を入力して再生する

トラック番号を指定して、iPodのトラックを再生できます。

ここまでの操作



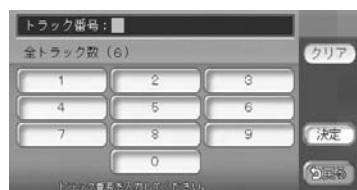
USB/iPod



リスト

1 番号指定 をタッチする

2 トラック番号を入力して、決定をタッチする



入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする 選択した曲の再生がはじまります。

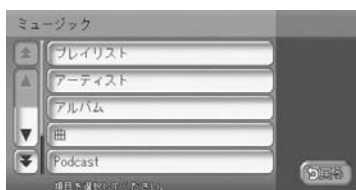
条件を指定して再生する

さまざまな条件から iPod のトラックを探して再生できます。

ここまでの操作



1 お好みの項目をタッチする



- 選択できる項目は以下のとおりです。
プレイリスト / アーティスト / アルバム / 曲 / Podcast / ジャンル / 作曲家

2 さらにお好みの項目をタッチする



※画面は **アルバム** をタッチした場合のものです。

3 聴きたいトラックをタッチする



選択した曲の再生がはじまります。

■コントロールバーをカスタマイズする

AVコントロールバーの中央にあるタッチキー（初期状態ではプレイリスト）に、他の機能を割り付けられます。

ここまでの操作



1 機能の選択 をタッチする



- () 内には、現在の設定項目が表示されます。

2 割り付けたい機能をタッチする



選択した機能がコントロールバーに割り付けられます。



- 割り付けられる機能は以下のとおりです。
プレイリスト / アーティスト / アルバム / 曲 / Podcast / ジャンル / 作曲家

リピート・シャッフル再生をする

リピート・シャッフル再生をする

ここまでの操作



USB/iPod



機能

1 目的の項目をタッチする

iPodオーディオ画面



iPodビデオ画面



選択した動作での再生が始まります。

REPEAT :

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SHUFFLE :

ALBUM をタッチすると、すべてのアルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK をタッチすると、再生中のアルバムのトラックをランダムに再生します。



- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

情報を表示する

トラック情報を表示する

情報を表示する

ここまでの操作



USB/iPod

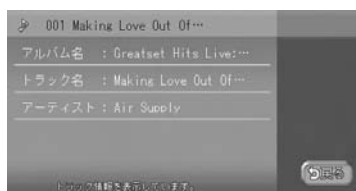


リスト

1

トラック情報 をタッチする

トラック情報が表示されます。



iPodを聴く／iPodビデオを観る

iPodの接続方法を切り替える

接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USBのみ」または「USB+VTR接続」から選択します。
工場出荷時は「USBのみ」に設定されています。

接続方法を切り替える

ここまでの操作



USB/iPod



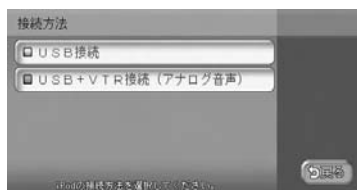
機能

1

接続方法 をタッチする



2 接続方法を選択してタッチする



USB接続 :

iPodはミュージックモードのみの対応になります。iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB+VTR接続(アナログ音声) :

VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用します。この設定を行うとソース選択画面の **VTR** は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。



- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。



オーディオ・ビジュアル編

Bluetoothオーディオを 聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

Bluetoothオーディオを使う 148

Bluetoothオーディオを使う

Bluetoothオーディオを本機に登録する（ペアリング）

初めてBluetoothオーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。



- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオの種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機からオーディオ制御ができない場合は、オーディオ機器からオーディオプレーヤーの操作をしてください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオについて詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオの収納場所、距離によっては、接続ができない場合や、再生している音楽の音飛びが発生するなど、正常に再生できない場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置くことをお勧めします。また、周囲に無線LANなどの電波を出す機器がある場合は、それらをOFFにするか遠ざけてください。
- Bluetoothの特性上、まれに動作が不安定になることがあります。そのような場合は、本製品、またはオーディオ機器の電源を入れ直してください。
- 著作権保護された音声はご利用いただけない場合があります。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- 電話関連機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetoothオーディオは、10台までペアリングすることができます。11台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。
- Bluetoothオーディオ再生時にインターナビ接続やハンズフリー通話を開始した場合は、Bluetoothオーディオの再生を一時停止します。
オーディオ機器によってはインターナビ接続やハンズフリー通話終了後、一時停止状態のままとなる場合があります。この場合は再度再生ボタンを押してください。

Bluetoothオーディオについて

- Bluetoothオーディオ機器によっては本機側からペアリングできないもの、オーディオ機器側からペアリングできないものがあります。
本機側からペアリングができないものは、オーディオ機器側からペアリングしてください。オーディオ機器側からペアリングができないものは、本機側からペアリングしてください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器によっては「自動接続」にしていると接続できない場合があります。この場合、「自動接続」をOFFにし、Bluetoothオーディオ機器側より接続してください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 音飛びなどが発生する場合、オーディオ機器に音質/接続の優先設定があるときには、接続優先に切り替えてください。また、ご使用のBluetoothオーディオ機器がカバンの中や、ポケットに入っていると音が途切れる場合があります。本機の近くに置いてご使用ください。
- Bluetoothオーディオ機器は必ず最新のソフトウェアバージョンにアップデートしてお使いください。
詳しくはご使用のBluetoothオーディオ機器の販売会社にお問合せください。

Bluetooth対応携帯電話をご使用の場合

- 本機側から接続を行うと、携帯電話でオーディオプレーヤーが起動できなかったり、音声正常に出力されないことがあります。ご使用になる場合は、本機の自動接続設定をOFFにし、携帯電話側から接続操作を行ってください。すでに接続状態の場合は、携帯電話から切断操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話のメディアプレーヤーを停止した場合、Bluetoothオーディオが切断されることがあります。
再度接続を行うには、携帯電話のメディアプレーヤーを起動後、「ヘッドフォン切替」などの設定で本機を選択してご使用ください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機側から接続できない場合は、携帯電話側から接続操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。また、携帯電話を待受け画面にしておくことで、本機から接続できる場合があります。
- Bluetoothオーディオ機器の機種との適合性に関して、詳しくはHonda販売店にお問合せください。

本機に登録する

ここまでの操作



Bluetooth

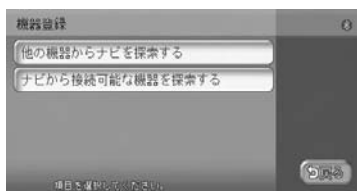
1 機器選択 をタッチする



2 機器登録 をタッチする



3 ナビから接続可能な機器を探索する をタッチする



Bluetooth接続機器の探索画面が表示されます。



以降の操作については、「携帯電話を登録する（ペアリング）」(P.71) の手順5以降をご覧ください。



・機器登録画面で

他の機器からナビを探索する をタッチした場合は、Bluetoothオーディオ機器側から本機のパスキー「1212」（初期値）を入力しペアリングしてください。

・機器登録画面で

ナビから接続可能な機器を探索する をタッチした場合は、「本機に登録する」（P.71）の手順4以降を参照してください。

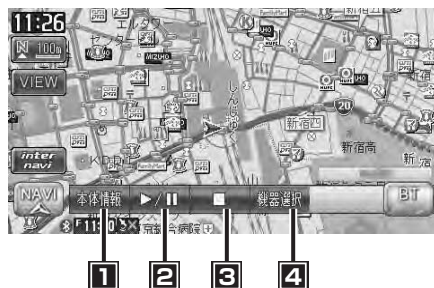
・ペアリング完了後、Bluetoothオーディオ上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「オーディオ」を選択してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

・ペアリングはBluetoothで電話を利用するとき、またはBluetoothオーディオを利用するときのどちらかで一度操作を行えば、再度ペアリング操作を行う必要はありません。

・Bluetooth対応オーディオ機器の登録を削除するには、「携帯電話を切り替える」（P.73）を参照してください。

操作画面について

ここまでの操作



■この画面からできる操作

- 1** 本体情報の表示や、Bluetooth電源のON/OFFを切り替える …… P.83
- 2** 再生、一時停止をする
- 3** 再生を停止する
- 4** 登録（ペアリング）されている機器を表示する、または機器の登録や削除を行う … P.71



• Bluetoothオーディオの種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオから操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

Bluetoothオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作



1

Bluetooth をタッチする

Bluetoothオーディオが再生されます。



- トラック番号、トラックの再生時間、タイトル名は画面に表示されません。
- オーディオ機器によっては、自動的に再生しない場合があります。この場合は本機またはオーディオ機器の再生ボタンを操作してください。

前／次のトラックを再生する

1

または を押す



- を押すとトラックの先頭に戻り、さらに を押すごとに前のトラックに移動します。
- を押すごとに次のトラックに移動します。



注意

- AVRCPに対応していないBluetoothオーディオ機器の場合、本機からの再生、早送り／早戻しや、前／次のトラックへの移動はできません。また、AVRCP対応Bluetoothオーディオ機器でも、再生、早送り／早戻しや、前／次のトラックへ移動できない機器があります。

早送り／早戻しする

1

(早送り) または
 (早戻し) を押し続ける



- から指を離すと、通常の再生に戻ります。